

「自ら学び、心豊かでたくましく生きる児童」 の育成をめざして

館林市立第八小学校 校長 青木 わかば

皆さま、こんにちは。本年度から第45代校長に就任いたしました青木です。どうぞよろしくお願いたします。

本校は、館林市の北西部に位置する、開校147年目を迎える学校です。

環境に恵まれており、学校の周辺には日本遺産に認定された館林市の里沼の多々良沼、彫刻の小径、大谷休泊の墓、県立館林美術館などがあります。

伝統と歴史のある本校は、地域の方々に愛され、母校として誇りをもっていただいている学校です。授業参観をはじめ、いろいろな学校行事への保護者の方々の参加率も高く、「読み聞かせボランティア」「安全ボランティア」「親父クラブ」などの地域の団体や、授業における外部講師、保護者ボランティアなど、地域のたくさんの方々に支えられています。このように、本校に対して多大な関心をもっていただいていることは、この上ない感謝であるとともに、その責任の重さに身が引き締まる思いです。

子どもたちも、勉強にも運動にも頑張っています。授業では、積極的に取り組んでいる子どもたちの姿が見られます。さらに、校外の行事も含めて、自ら進んで参加して粘り強く努力ができる子が多いことも大きな特色です。

本年度は、62名の新1年生を迎え、全校児童480名でスタートしました。学校の教育目標である「自ら学び、心豊かでたくましく生きる児童の育成」を目指し、「進んで学ぶ子、力を合わせる子、かんぱりつづける子」を育てていくために、職員一同、最善を尽くしていきたいと思いますので、今後ともご支援をよろしくお願いたします。



【第八小学校】

令和2年4月